

**日本アフリカ学会
第44回学術大会プログラム
2007年5月26日（土）・27日（日）**

長崎大会

2007年5月26日（第1日目）午前

時間	座長	A会場（3階 国際会議場）	座長	B会場（3階 第1.2.3会議室）	座長	C会場（3階 第4.5会議室）
9:00	西 真如	A-1 若杉なおみ ほか 早稲田大学大学院政治学研究所 アフリカの子どものエイズ・コートジボワールにおける抗レトロウイルス薬治療	清水大輔	B-1 石田英實 滋賀県立大 咀嚼器からみたアフリカ中新世類人猿ナチョラピテクスの性差	富永智津子	C-1 鈴木英明 東京大学 ザンジバル文書館所蔵1860年奴隷解放文書AA12/3について
9:15		A-2 松浦志奈乃 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 タンザニア、北バシ地域における土器作りグループに関する社会経済的研究		B-2 國松豊 ほか 京都大学霊長類研究所 ナカリ（ケニア）出土の新しい小型狭鼻猿化石		C-2 西野太郎 中央大学大学院文学研究科 『キルワ年代記』におけるポルトガル来航の叙述の意図について
9:30	児玉谷史郎	A-3 加藤太 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 トラクタ耕作を基盤とした稲作の展開－タンザニアキロンベロ氾濫原の事例－	山極寿一	B-3 仲谷英夫 鹿児島大学理学部地域環境科学科 ケニア産後期中新世ヒツパリオン化石臼歯のMesowearによる環境復元（予報）：ウマの歯の咬耗からみたヒト上科進化の古環境	増田研	C-3 石川博樹 東京女学館大学(非常勤講師) ダモトのジャウィ：ゴンダール期に於けるオロモ系集団
9:45		A-4 古市信吾・央戸竜司 アイ・シー・ネット株式会社／神戸大学大学院国際協力研究科 アフリカ小農の市場へのアクセスについての一例：ザンビア西部州の農村開発プロジェクトからの報告		B-4 田代靖子・平田聡 林原類人猿研究センター ボノボ保護施設（Lola Ya Bonobo）での群れの合流に伴う社会交渉		C-4 真城百華 津田塾大学国際関係研究所 エチオピア帝国の地方行政改革：1940年代のティグライの事例を中心に
10:00		(発表者の希望によりA-35へ移動しました)		B-5 藤本麻里子・花村俊吉 滋賀県立大学大学院／京都大学大学院 タンザニア西部で発生した地震とそれに対する野生チンパンジー（ <i>Pan troglodytes schweinfurthii</i> ）の反応		C-5 若狭基道 明星大学(非常勤講師) ウォライタ語の引用文と人称代名詞
10:15	池野旬	A-6 児玉由佳 アジア経済研究所 エチオピアにおけるコーヒー－農民協同組合とフェアトレード	仲谷英夫	B-6 花村俊吉 ほか 京都大学大学院 マハレのチンパンジーにおけるインフルエンザ様の病気の流行	神田乃	C-6 高村美也子 名古屋大学大学院 希少数民族ボンデイ語が使われるとき：UNYAGOの事例
10:30		A-7 池上甲一・羽田幸代 近畿大学農学部／神戸大学大学院 南アフリカの農地改革と「フェアトレード」		B-7 小藪大輔 ほか 京都大学霊長類研究所 西アフリカに同所的に生息するコロブス三種の生態的食い分けと咀嚼器官の形態適応		C-7 安部麻矢 大阪外国語大学（非常勤講師） マア語の社会言語学的地位について
10:45		A-8 三島禎子 国立民族学博物館 ソニンケ商人にみる経済活動と倫理		B-8 清水大輔 京都大学霊長類研究所 霊長類の移動様式と足首関節の形態		C-8 湯川恭敏 帝京平成大学 ルバ族はどこから来たか
11:00	児玉由佳	A-9 徳織智美 北海道大学大学院経済学研究所 土木建設産業における中小零細企業の成長阻害要因：ブルキナファソの実証分析	土肥昭夫	B-9 山極寿一 ほか 京都大学 ゴリラの遊動に影響を与える環境要因	砂野幸稔	C-9 Moussa Dembele 京都府立大学 西アフリカ都市における言語学的・コスモロジカルなオーダーについて：トンブクツとセグ市の比較に基づいた研究
11:15		A-10 杉本喜美子 大阪学院大学経済学部 西・中部アフリカにおける通貨制度の検証		B-10 相馬貴代 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 生息地の観光地化がワオキツネザルの生態に与える影響		C-10 石原豊一 立命館大学大学院 言語とアイデンティティを考える：南アフリカ共和国における多文化共生に向けて
11:30	三島禎子	A-11 加納直幸 創価大学平和問題研究所 グローバリゼーションがもたらすアフリカ経済へのインパクト	土肥昭夫	B-11 日黒紀夫 東京大学大学院 野生生物保全の便益がもたらす「裏切られた保全」：ケニア南部、マサイ・コミュニティを事例に	小馬徹	C-11 亀井伸孝 関西学院大学 アフリカ固有名詞手話の研究：ろう者の世界の地名と人名
11:45		A-12 Maswana, Jean-Claude 京都大学大学院経済学研究科 アフリカの経済成長を誘発する中国の潜在性：実証的調査		B-12 小林聡史 釧路公立大学 アフリカにおける住民参加型自然資源管理とエコツーリズムの新たな課題		C-12 山田尚子 政策研究大学院大学 エチオピア農村における就学拡大と社会変容：家計調査の結果から
12:00		A-13 西浦昭雄 創価大学 南部アフリカ衣料産業への中国インパクト		(発表者の都合により発表が取り消されました)		C-13 澤村信英 広島大学教育開発国際協力研究センター ウガンダの初等教育：無償化実施後10年の現状
12:15-13:20		屋敷 評議員会（大会本部）				

2007年5月26日（第1日目）午後

時間	座長	A会場（3階 国際会議場）	座長	B会場（3階 第1.2.3会議室）	座長	C会場（3階 第4.5会議室）
13:30-14:20	総会(A会場)					
14:30	佐藤康也	A-14 伊藤美穂 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 ギニア共和国熱帯林地域における人々によるラフィアヤシ管理	宮治美江子	B-14 川田薫 名古屋大学大学院文学研究科 在日ナイジェリア人の同郷人組織の変容	竹村景子	(発表者の都合により発表が取り消されました)
14:45		A-15 村尾るみこ 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 移住による集団での土地管理：ザンビア西部、アンゴラ移住民の事例から		B-15 原口武彦 獨協大学経済学部（非常勤講師） 日本の大学におけるアフリカ教育：私の経験		C-15 森美麻 龍谷大学大学院 セネガルの高等教育における留学希望要因に関する研究：ダカールとリヨンの事例をめぐって
15:00		A-16 荒木茂 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 カメルーン東南部のサバンナ森林境界域における耕地化の現状（予察）		B-16 縄田浩志 鳥取大学乾燥地研究センター 写真<ハゲワシと少女>の最も近くにいた日本人		C-16 杉山幸丸 京都大学 ギニアの大学教育
15:15	末原達郎	A-17 中島邦公・若月利之 近畿大学大学院／近畿大学農学部 ガーナ・アシャンティ州のニッチ農業、移住民によるバラニナ栽培の事例から	原口武彦	B-17 青木澄夫 中部大学国際関係学部 昭和前半期における名古屋経済人のアフリカへの関心	亀井哲也	C-17 井上真悠子 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 「土産物絵画」のつくり方：タンザニアのザンジバル島における新しい技法の創造と模倣のプロセス
15:30		A-18 山崎亮一 酪農学園大学 ニジェール河内陸デルタ地方における乾燥化と農家経済		B-18 森康成 兵庫県立淡路高等学校 明治から昭和前期の英語教科書に見るアフリカ記述		C-18 檜垣まり 早稲田大学オープン教育センター（非常勤講師） タンザニア、ダルエスサラームにおけるスワヒリ歌謡ターラブの誕生と発展
15:45		A-19 近藤史 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 互助労働を基盤とした在来農業の創造的展開：タンザニア南部・ベナの事例から		B-19 今井一郎 関西学院大学総合政策部 マラウィ内水面漁撈の現状と課題：シレ川下流域の事例から		C-19 近藤英俊 関西外国語大学 瞬間を生きる個の謎：アザンデの世界からフラックス状況へ
16:10-18:10	公開シンポジウム（A会場、国際会議場） 「アフリカと日本の出会い：長崎出島を介して」 増田 研 （長崎大学） 「アフリカ研究と長崎学をつなぐ」 青木澄夫 （中部大学） 「日本－アフリカ交流小史」 野上建紀 （有田町歴史民俗資料館） 「アフリカに運ばれた伊万里」 古川哲史 （大谷大学） 「日本－アフリカ交渉史の諸相を考える：いくつかの課題と展望」					
18:20-21:00	懇親会（ウェルシティ長崎2階 西海ホール、Tel: 095-845-0860）					

2007年5月27日（第2日目）午前

時間	座長	A会場（3階 国際会議場）	座長	B会場（3階 第1.2.3会議室）	座長	C会場（3階 第4.5会議室）
9:00	石井洋子	A-20 吉田早悠里 名古屋大学大学院 日常化される「差別」：エチオピア南西部カ ファ地方におけるマンジョの事例	三好皓一	B-20 笹岡雄一 国際協力機構 東アフリカにおける地域社会と地方分権化の諸課題① ① ケ ニアにおける地方分権化の政治とサービスデリバリー	湖中真哉	C-20 松浦直毅 京都大学大学院理学研究科 ガボン南部バボンゴ・ビグミーと農耕民マサン ゴの通婚と社会構造
9:15		A-21 藤井千晶 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 祈りの医学：ザンジバルにおける預言者医学の 実践		B-21 関谷雄一 青山学院女子短期大学 東アフリカにおける地域社会と地方分権化の諸課題② ケニアの地域社会組織（CBO）と行政		C-21 五百部裕・ムワンザ・ドゥンダ 相山女学園大学／CREF コンゴ民主共和国ジョル地区住民の狩猟活動
9:30	A-22 浅野史代 名古屋大学大学院文学研究科 ブルキナファソ女性の生活と禁忌	B-22 吉田昌夫 日本福祉大学大学院 東アフリカにおける地域社会と地方分権化の諸課題③		C-22 林耕次 国立民族学博物館 カメルーン南東部における狩猟採集民バカの農 耕活動：農耕の受容と生計戦略		
9:45	菊地滋夫	A-23 須田征志 名古屋大学大学院 タンザニア・ルシヨト地域における治療と精霊 の関係		B-23 阪本公美子 宇都宮大学国際学部 東アフリカにおける地域社会と地方分権化の諸課題④ 南東タ ンザニア農村内の相互扶助と生計戦略の視点から	松田凡	C-23 藤本武 人間環境大学 変動する多様な作物資源：エチオピア西南部マ ロの事例から
10:00		A-24 神谷良法 名古屋大学大学院 バングラ誕生：カメルーン南部ンビリ儀礼に関す る事例報告		B-24 斎藤文彦 龍谷大学国際文化学部 東アフリカにおける地域社会と地方分権化の諸 課題⑤ ウガンダの地方分権の展開		C-24 伊藤義将 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 エチオピア南西部高地森林域における森林利用
10:15	上田元	A-25 高根務 アジア経済研究所 マラウィのタバコ流通制度と小農		B-25 大川恵子 School of Oriental and African Studies University of London ガーナにおける財政の地方分権：タマレ市を事例に	小松かおり	C-25 内藤直樹 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 東アフリカ牧畜社会におけるクラン概念の再検討
10:30		A-26 原島梓 アジア経済研究所 マラウイにおけるタバコ生産の自由化と小農		B-26 小倉充夫 津田塾大学国際関係学科 ンセンガとザンビアの民族間関係：南部アフリ カにおける平和と紛争の研究		C-26 池谷和信 国立民族学博物館 アフリカ環境史とカラハリ砂漠
10:45	若月利之	A-27 大田克洋 東京農業大学国際食料情報学部 ガーナ中央地域におけるヤムイモ流通の現状と 課題		B-27 Paul Maylam Rhodes University, South Africa Hero, saint, icon: Nelson Mandela and his biographers	池谷和信	C-27 佐藤康也 九州大学 エチオピア南西部における森林焼畑民の環境利 用と出生力動態
11:00		A-28 福泉博己 東京農業大学国際食料情報学部 ナイジェリアにおけるキャッサバ加工業の現状 と課題		B-28 荒木圭子 早稲田大学（非常勤講師） 南アフリカにおけるガーヴィーイズム：パン・ アフリカニズムからアフリカニズムへ		C-28 飯田卓 国立民族学博物館 モザンビーク北部における小規模漁業の2類 型：生態人類学における地域史へのアプローチ
11:15		A-29 中曾根勝重 東京農業大学国際食料情報学部 ガーナ北部地域における営農様式の変化とその 要因に関する研究（2）		B-29 岩田拓夫 筑波大学 サンカラ革命再考：思想は死なず		C-29 亀井哲也 野外民族博物館リトルワールド アフリカ・バントウ文明の技術誌的研究 報告1：博物館国際 協力による、バントウ文明拡大史へのアプローチ
11:30	中曾根勝重	A-30 小林裕三 ほか 社）国際農林業協働協会 ベナンにおける食品加工業の現状報告	B-30 佐藤章 アジア経済研究所 「指導者」の復活：統治者と「アフリカの近 代」の研究に向けて	津田みわ	C-30 井関和代 大阪芸術大学 アフリカ・バントウ文明の技術誌的研究 報告 2：バメンダ高原の鉄づくり	
11:45		A-31 若月利之 近畿大学農学部 第一回アフリカ稲作会議報告	B-31 高倍宣義 （社）アフリカ協会 コンゴ民主共和国（旧ザイール）の選挙とその後		C-31 吉田憲司 国立民族学博物館文化資源研究センター アフリカ・バントウ文明の技術誌的研究 報告3：「伝統の創 造」と博物館建設競争—ザンビアにおける展開から	
12:00		A-32 下村理恵 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 タンザニア南西部のムサンガノ・トラフにおける水田稲作の 発展プロセス：ボジ県ンティンガ村の事例	B-32 高林敏之 西サハラ問題研究室 北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）—アフリカ 関係：予備的報告		C-32 浜口博之 ニイラゴンゴ火山の溶岩湖活動の変遷（その 2）：2002年噴火のメカニズムの考察	
12:15- 13:15						昼食

2007年5月27日（第2日目）午後

時間	座長	A会場（3階 国際会議場）	座長	B会場（3階 第1.2.3会議室）	座長	C会場（3階 第4.5会議室）	
13:15	重田眞義	地域開発フォーラム 開発と地域研究のインターフェイス 西真如 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 参加の制度とエンパワメントの要求:エチオピアのグラゲ道路建設協会の経験 高橋隆太 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 セネガル河下流域における住民主導の農村開発と社会関係の再編成 石山俊 名古屋大学大学院文学研究科 サハラ南縁地域における穀物貯蔵技術と穀物不足時の穀物獲得:ブルキナ・ファソ、北部ブルキナ・ファソの事例から 白石 壮一郎 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 援助プログラムによる「エンパワメント」評価はいかにして可能か?ウガンダ共和国の貧困削減プログラム個別報告書(2006)を題材として 黒崎龍悟 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 タンザニア南部における農村開発と住民による活動の展開— Capacity Developmentの検討 —	武内進一	B-33 花谷厚 国際協力機構 南北包括和平合意締結後の南部スーダンと日本による平和構築支援	星野光雄	C-33 沢田順弘 ほか 島根大学総合理工学部 東アフリカ大地溝帯における破局的火山活動	
13:30				B-34 榎本珠良 東京大学大学院 北部ウガンダ紛争と「アチヨリの伝統的正義」		C-34 上田元 東北大学大学院環境科学研究科 ケニア・アバーデア山地北東麓における人口増加と土地利用変化	
13:45				B-35 杉木明子 神戸学院大学法学部 ウガンダにおける難民開発援助の現状と今後の課題		C-35 桂田祐介 ほか 名古屋大学博物館 土地荒廃現象のメカニズム解明に向けての学際的アプローチ:ケニアのガリー侵食の事例から	
14:00				B-36 遠藤貢 東京大学大学院 ソマリアをめぐるシアド・バレー体制の再検討		C-36 大山修一 首都大学東京 ニジェールにおける農村の世帯間格差と牧畜民との野営契約	
14:15				B-37 Simone Tarsitani 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 Social and cultural values of Islamic rituals in Ethiopia:New developments in Harari Region		C-37 木村圭司 北海道大学大学院情報科学研究科 アフリカ南部における降水とテレコネクション	
14:30	椎野若菜	女性フォーラム ジェンダーとセクシャリティ:レイブの政治学 永原陽子 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 富永智津子 宮城学院女子大	川瀬 慈	映像フォーラム 映像と現代アフリカ 研究者による映像制作の可能性Ⅲ 分藤大真 京都大学アフリカ地域研究資料センター 『Jengi -森の精霊-』 / アフリカ映画の現在 -フェスバコ2007報告- 川瀬慈 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 Film: Room 11, Ethiopia Hotel 小林直明 国立民族学博物館 松浪康男 南山大学人間文化研究所 『ヤアへの参詣-参詣の旅人と迎える人々-』 Simone Tarsitani 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 Digital sound archives and libraries in Ethiopia. Problems and perspectives of preserving and making accessible recorded sound. The case of Abdullah Sherif's Museum in Harar.	水野一晴	C-38 吉田浩之 慶應義塾大学 SFC 研究所 中空間解像度データによるアフリカ西部の季節河川特性分析	
14:45						A-33 飯田雅史 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 ジンバブウェにおけるHIVの流行と都市女性組織	C-39 門村浩 アフリカにおける近年の異常気候イベント
15:00						A-34 成澤穂子 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 村に「いちば」をつくる:南部ザンビアにおける女性の現金獲得活動の新たな展開	C-40 水野一晴 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 ケニア山とナミブ砂漠における近年の自然環境変化
15:15						A-35 池見真由 北海道大学大学院 セネガル村落部での参加型開発	C-41 宮本真二 滋賀県立琵琶湖博物館 ナミブ砂漠, クイセブ川中流域に分布する河成堆積物の評価
15:30						C-42 手代木功基 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 ナミビア, ダマラランドの半乾燥地における植生分布とそれに関わる環境要因	
15:45	高田 明	C-43 山縣耕太郎 上越教育大学 ナミビア, カオコランドにおける植生衰退と地形・地質条件 C-44 山科千里 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 ナミビア, カオコランドにおけるアリ塚と自然環境・人間活動の関わり C-45 吉田冬美 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 ナミビア北西部, 季節河川におけるゾウと人の関係変化 C-46 藤岡悠一郎 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 ナミビア北部, オヴァンボ社会における世帯間の経済格差と樹木利用の差異	大山修一				
16:00				C-43			
16:15				C-44			
16:30				C-45			
16:45				C-46			
17:00							
17:15							